

ひろしまの生活・文化を育むまちづくり

サミット
先着 100人 咲皆都!

テーマ： 持続するまちづくりの新たな仕組みを考える

趣 旨

「広島アジア競技大会」のボランティア活動を契機に繰り広げられてきた広島市のまちづくり活動も早10年を迎えました。この間に育まれてきた多種多様な活動は、これからの都市再生や地域コミュニティの生成等における大きな牽引役と期待されています。しかし、動き出したものの、なかなか従来の枠組みから飛躍できず、メンバーの意識や発想が次のステップに進まないもの、活動が停滞・中断するもの、目標地点を見失うもの・・・等々、個々のまちづくり活動が抱える課題も多く出てきました。そこでこのフォーラムでは、これまでの広島で行われてきた活動を振り返りながら、「新しい公共 1」「コミュニティ・ビジネス 2」といった観点から、持続・循環が可能な「地域の生活・文化を育むまちづくり」にシフトアップするため、「新たな社会の仕組み・制度のあり方」や「市民、NPO、企業、専門家、行政の役割(パートナーシップ)」等について展望したいと考えます。市民とともに、コミュニティを育む舞台(都市空間)を担う、活動家、専門家、行政関係者などが一同に集い、全員で議論できるフォーラムとします。

日 時：2003年2月15日(土) 13:00~17:00(開場 12:30)

場 所：広島市まちづくり市民交流プラザ 5階研修室 広島市中区袋町6-36

参加費：無料(先着100名)



フォーラムプログラム

13:00~13:15 開会挨拶 加藤 文教(日本都市計画学会中国四国支部)
総合司会 松田 智仁(日本建築学会中国支部)

13:15~14:15 基調講演

『地域の生活・文化を育む“市民まちづくり”と“新しい公共”』
講師：林 泰 義(株)計画技術研究所所長)

14:15~15:00 まちづくり活動紹介

進 行 宮迫 勇次(広島県建築士会広島支部まちづくり委員会)

- 1) ディスカッション ワークショップ の説明
- 2) まちづくり活動の紹介：各話題提供者

『市民主導のまちづくりの展望と課題』
新澤 孝重氏(可部カラスの会)

『まちづかい・行政付き合いの展望と課題』
山根 進氏(千田わっしょい祭実行委員会)

『商店街における資源活用の展望と課題』
石田 邦夫氏(コイン通り街づくり委員会)

『歴史資源の掘り起こしと活用の展望と課題』
山根 政則氏(草津まちづくりの会)

『市民主体のまちづくりの展望と課題』
佐名田 敬荘氏(広島市都市計画局都市政策部まちづくり担当課長)

(休 憩) 「ポストイット」の記入(今後の展望への意見だし)

15:30~16:30 ディスカッション ワークショップ

コメンテーター 林 泰 義
ファシリテーター 福田 由美子(都市住宅学会中国・四国支部)
宮迫 勇次

ディスカッション 参加者全員

16:30~16:55 まとめ・総括

まとめ 福田 由美子
総 括 林 泰 義

16:55~17:00 閉会挨拶 下田 卓夫(広島県建築士会広島支部まちづくり委員会)

移 動

18:00~20:00 懇 親 会

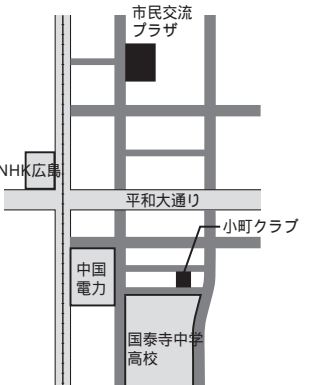
進 行 佐伯 達郎(建設コンサルタンツ協会中国支部)

場 所：中電小町クラブ 6階ホール

会 費：4000円/1人(一般) 2000円/1人(学生) 申込み：当日受け付け

問い合わせ先：ひろしま まちづくりフォーラム 2003 実行委員会 事務局

連絡先：TEL 082-292-5486 FAX 082-296-5481(荒谷建設コンサルタンツ内 宮迫、田辺)



1「新しい公共」
住民、NPO、企業、そして行政が、それぞれ自ら持つものを「社会に開く」とともに、「対話」を通じて共に「公共」を担っていくような概念。それぞれの立場でまちへの関わりを紡いでいく中で「新しい公共の仲間」ができ、さらに互いが「開きたくなる」気持ち、状況が広がっていくことで、まちや地域社会の再生、創造がつながっていく。

2「コミュニティ・ビジネス」
衰退した地域経済の再生をコミュニティ自身の手によって行うことを言う。そのためには、成功したときの楽しみ、喜び、誇らしさ、手応えを感じる気持ちが重要である。まちづくりの領域は、生産、就業という地域経済領域を含んでおり、コミュニティ・ビジネスはまちづくりのひとつの柱と位置づけられる。